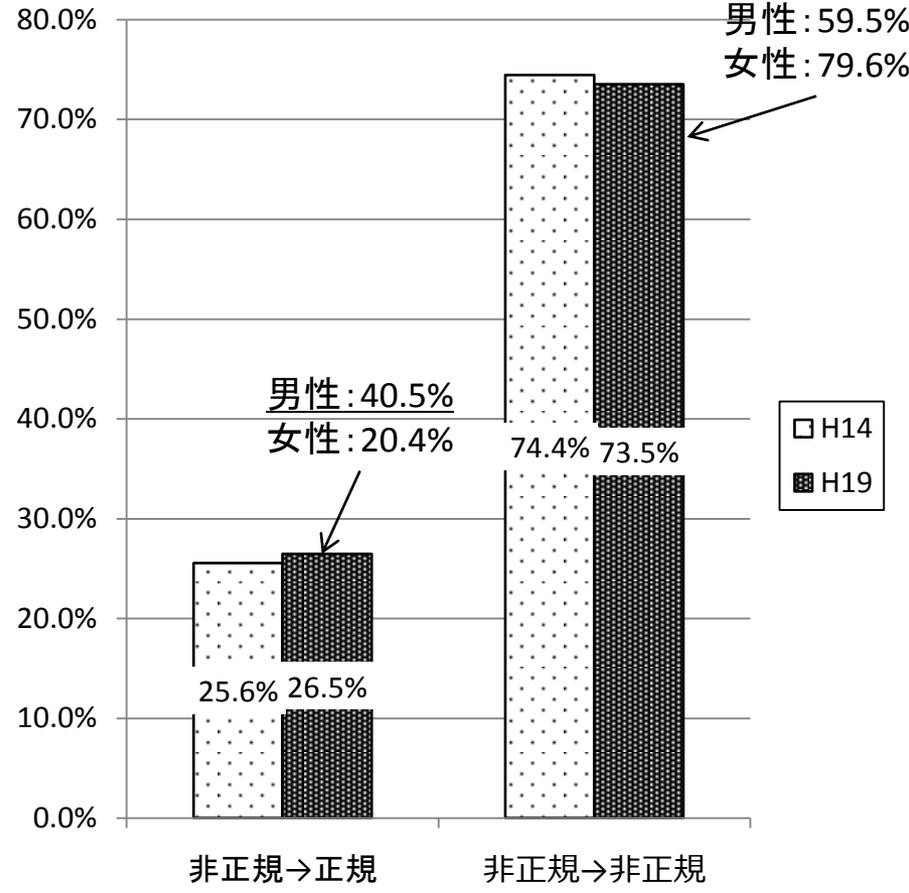
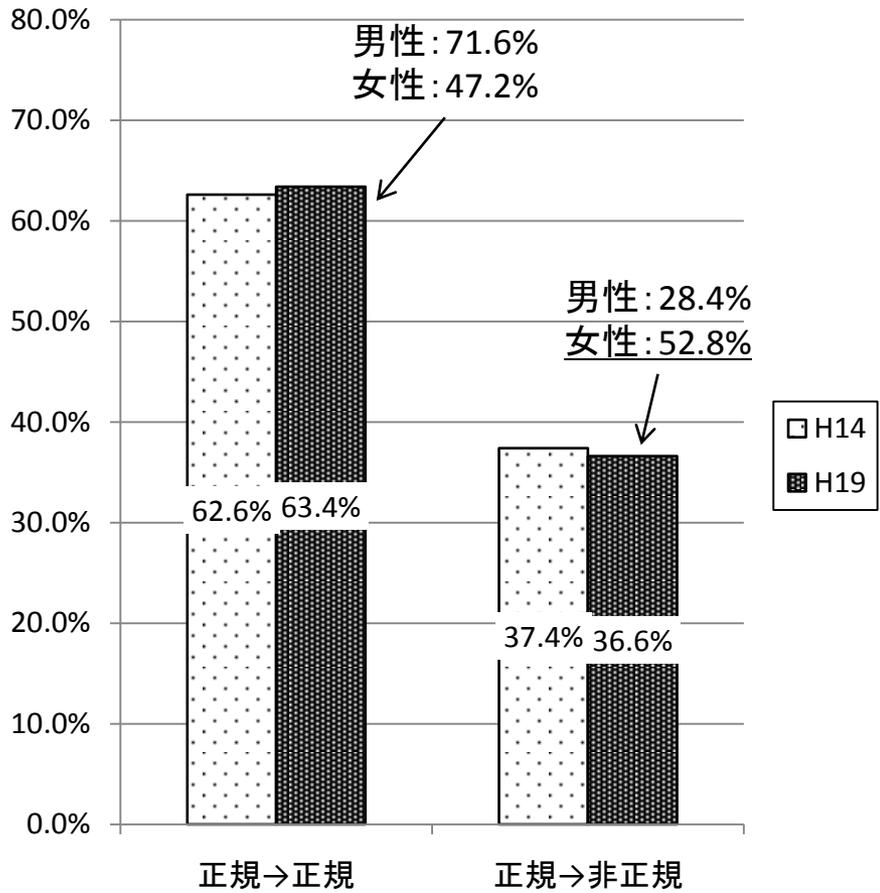


正社員と非正規労働者の現状 (追加資料)

非正規労働者の転職状況の推移

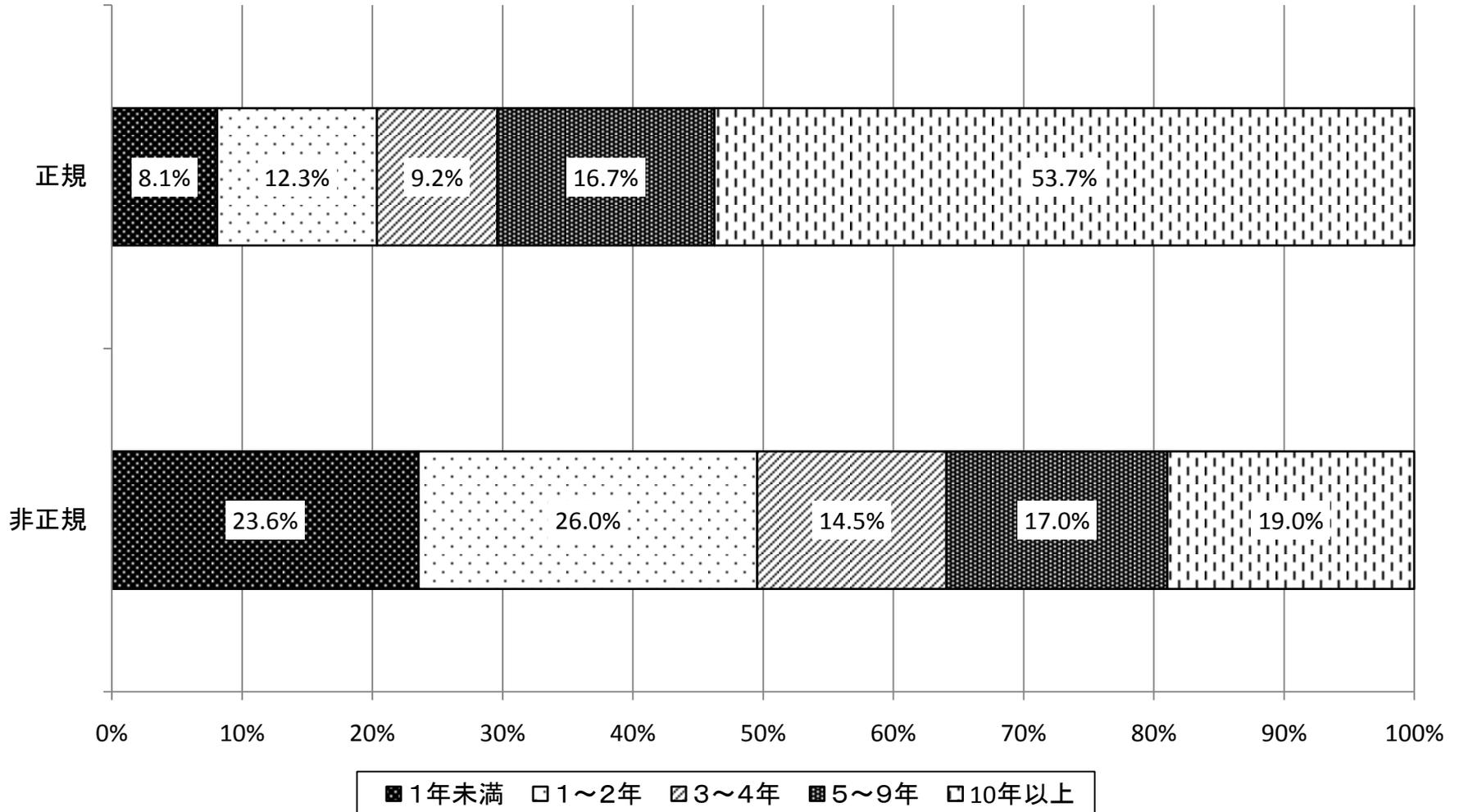
- 労働者の転職の傾向は、2002年、2007年で大きな違いはない。
- 非正規労働者から正規労働者として転職する者は26.5%であり、男性では、2007年において、40.5%とその割合が高い。
- 一方で、正規労働者から非正規労働者として転職する者は36.6%であり、女性では、2007年において、52.8%とその割合が高い。



(資料出所) 総務省「就業構造基本調査」(2007,2002)

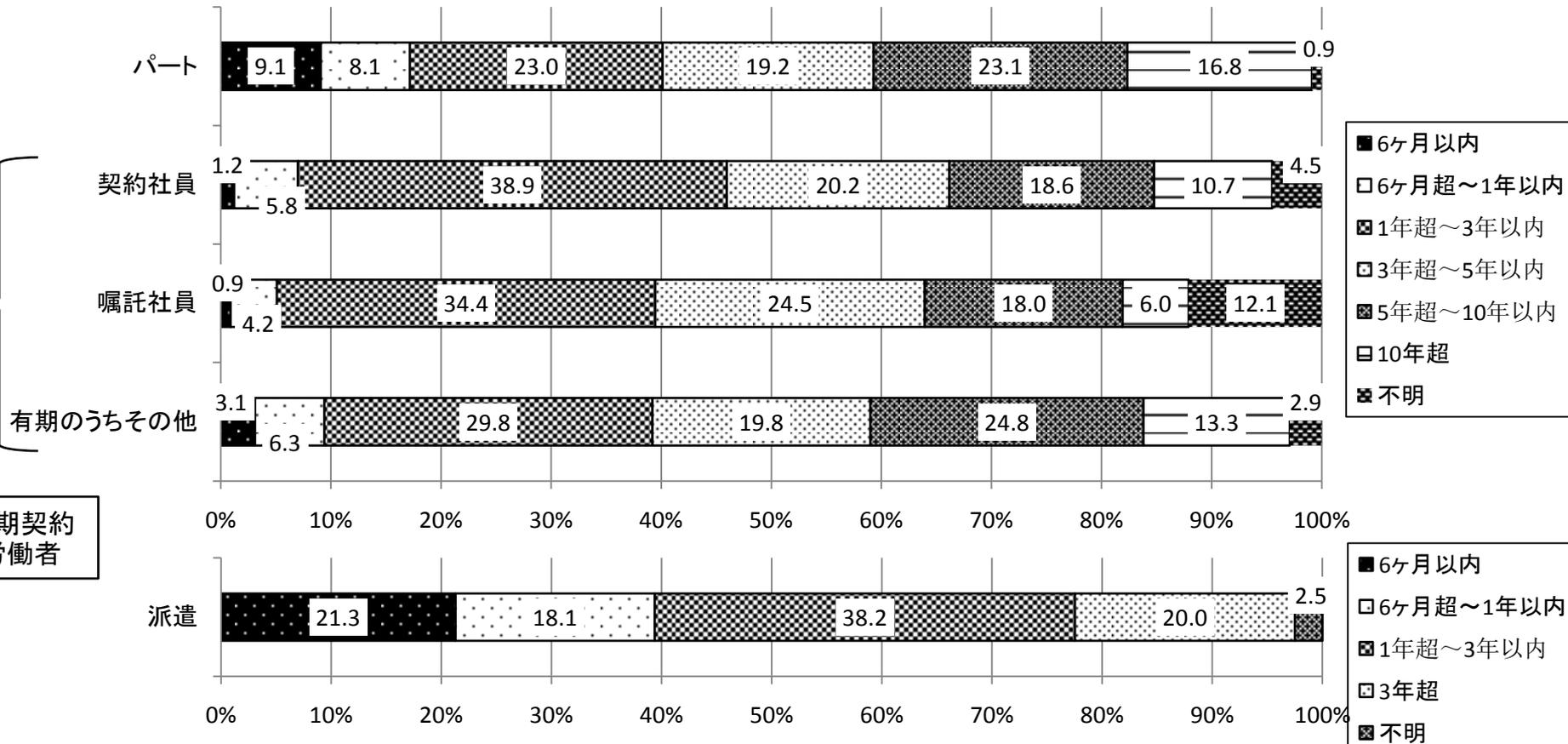
継続就業期間別労働者割合

- 正規労働者では「10年以上」の者が5割を超える。
- 非正規労働者では、2年以内の者が約5割程度であり、「10年以上」の者は2割に満たない。



現在の会社における継続就業期間別非正規労働者割合

- パートタイム労働者及び有期契約労働者では、同一の会社における就業継続期間が3年を超える者が約5～6割、10年を超える者も1割を超える状況であり、長期にわたっている。
- 反対に、派遣労働者では、3年以下の者が8割近くを占めている。



(資料出所) 厚生労働省「H17有期労働契約に関する実態調査」
 厚生労働省「H18パートタイム労働者総合実態調査」
 厚生労働省「H20派遣労働者実態調査」

注1) パートについては、「1～6ヶ月」「7ヶ月～1年未満」「1～3年未満」「3年～5年未満」「5年～10年未満」「10年以上」「不明」で区分したもの。
 また、契約期間の定めの有無は問わない。

注2) 「有期のうちその他」とは、有期契約労働者のうち、契約社員・嘱託社員・短時間のパートタイマー・その他のパートタイマーを除いたもの。